



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オールシーコア

コード番号 7837 URL <http://www.rccore.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二木 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 経理部責任者 (氏名) 壽松木 康晴 TEL 03-5790-6500

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,133	3.8	△421	—	△426	—	△325	—
2020年3月期第1四半期	3,018	14.6	△481	—	△494	—	△437	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △317百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △444百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△77.22	—
2020年3月期第1四半期	△103.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	11,409	3,114	27.3	738.78
2020年3月期	12,611	3,543	28.1	840.75

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,114百万円 2020年3月期 3,543百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	△9.7	△640	—	△690	—	△600	—	△142.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	4,508,700株	2020年3月期	4,508,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	293,120株	2020年3月期	293,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,215,020株	2020年3月期1Q	4,212,180株

（注）期末自己株式数には、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式（2021年3月期1Q 292,938株）が含まれております。また、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期1Q 293,498株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
生産・受注及び販売の実績	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会や経済の様々な活動が制限され景況感が急速に悪化するなど、大変厳しい状況で推移いたしました。

当社グループにおいても、全国に展開するLOGWAY（展示場）における3密を避けるために、予約制にして来場制限を設けるなど、営業活動の制限を余儀なくされた結果、受注棟数実績が前年実績を大幅に下回って推移しているほか、施工面においても、行政への各種申請等のスケジュールに遅れが生じるなど、様々な方面に感染症拡大の影響が見受けられます。

こうした状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は3,133百万円となり前年同期比3.8%増加しましたが、連結営業損失が421百万円（前年同期は481百万円の損失）、連結経常損失が426百万円（同494百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失が325百万円（同437百万円の損失）となりました。

連結契約（受注）高においては、2,527百万円（前年同期比6.4%減）、期末契約（受注）残高は13,612百万円となりました。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

## ①直販部門

連結売上高の32.4%（外部顧客売上高ベース）を占める直販部門は、東京都・代官山の「BESSスクエア」、東京都・昭島の「BESS多摩」及び神奈川県「BESS藤沢」の直営3拠点で、東京・神奈川圏を中心とする顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は1,015百万円（前年同期比3.9%増）となりました。また、セグメント利益は73百万円（前年同期は4百万円の利益）となりました。

一方、感染症拡大防止のための外出自粛要請などの影響により集客数が大幅に減少したことなどから、セグメント契約（受注）高は、747百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

## ②販社部門

連結売上高の33.6%を占める販社部門は、全国の地区販社に対して、BESSブランドと販売システム等を提供するとともに、BESS企画型住宅の部材キット等を供給する事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、1,437百万円（前年同期比19.6%減）となり、セグメント損失は、115百万円（前年同期は83百万円の利益）となりました。

また、直販部門と同様、大幅に集客が減少したことなどにより、セグメント契約（受注）高は819百万円（同20.9%減）となりました。

## ③株式会社BESSパートナーズ（以下、BP社）

連結売上高の34.0%を占める国内連結子会社のBP社は、金沢（石川県）、熊谷（埼玉県）、水戸、つくば（茨城県）、富士、静岡中部、浜松（静岡県）、東愛知（愛知県）、糸島（福岡県）、熊本（熊本県）に加え、その連結子会社である株式会社BESS札幌が担う札幌（北海道）、同じく株式会社BESS岐阜が担う岐阜（岐阜県）の合計12拠点のBESS LOGWAYを営業拠点として、顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、2019年1月より新たに加わった茨城、東海エリアの6拠点における売上が増加してきたことなどにより1,083百万円（前年同期比116.9%増）となりましたが、九州エリアの新拠点における先行経費負担もありセグメント損失は62百万円（前年同期は177百万円の損失）となりました。

セグメント契約（受注）高は、上記承継拠点による契約（受注）増加の影響等から961百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比で1,201百万円減少の11,409百万円、負債は同772百万円減少の8,295百万円、純資産は同429百万円減少の3,114百万円となりました。それぞれの主な増減要因につきましては、次の通りであります。

総資産の減少は、「現金及び預金」が733百万円、「売掛金及び完成工事未収入金」が同929百万円それぞれ減少した一方、「商品」が301百万円増加したこと等によります。

負債の減少は、「買掛金及び工事未払金」が579百万円、「未払法人税等」が127百万円それぞれ減少したこと等によります。

純資産につきましては、「親会社株主に帰属する四半期純損失」を325百万円計上したこと等によります。

その結果、自己資本比率は27.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2020年7月31日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、複数の金融機関との間でコミットメントライン契約を締結しておりますが、本契約には一定の財務制限条項が付されており、当第1四半期連結会計期間末の財政状態は当該条項に抵触しております。しかしながら、各金融機関から当該条項に係る期限の利益喪失についての権利を行使しない旨の合意を得ておりますので、当社グループには、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,522,688	2,789,657
売掛金及び完成工事未収入金	2,371,454	1,442,295
商品	451,282	753,036
貯蔵品	76,085	86,338
仕掛販売用不動産	350,984	330,301
未成工事支出金	54,880	165,246
貸倒引当金	—	△73,898
その他	202,772	257,045
流動資産合計	7,030,149	5,750,022
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,167,796	3,167,796
その他	2,380,662	2,310,074
減価償却累計額	△1,251,420	△1,198,394
その他（純額）	1,129,241	1,111,679
有形固定資産合計	4,297,037	4,279,476
無形固定資産		
その他	246,050	230,060
無形固定資産合計	246,050	230,060
投資その他の資産		
その他	1,054,275	1,166,729
貸倒引当金	△15,993	△16,293
投資その他の資産合計	1,038,281	1,150,436
固定資産合計	5,581,370	5,659,972
資産合計	12,611,519	11,409,994

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	2,137,092	1,557,943
短期借入金	1,632,400	1,879,700
1年内返済予定の長期借入金	575,168	575,188
未払法人税等	137,978	10,166
前受金及び未成工事受入金	679,795	863,267
アフターサービス引当金	48,605	44,999
賞与引当金	32,038	102,438
ポイント引当金	114,513	100,272
その他	1,033,498	625,367
流動負債合計	6,391,091	5,759,343
固定負債		
長期借入金	1,850,073	1,706,261
長期未払金	167,191	167,191
退職給付に係る負債	76,058	75,165
長期アフターサービス引当金	50,992	54,369
株式給付引当金	26,611	27,388
役員株式給付引当金	66,440	75,395
資産除去債務	221,642	221,925
その他	217,675	208,548
固定負債合計	2,676,685	2,536,246
負債合計	9,067,776	8,295,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	660,764	660,764
資本剰余金	719,305	719,305
利益剰余金	2,501,519	2,063,301
自己株式	△328,848	△328,200
株主資本合計	3,552,741	3,115,171
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△8,998	△766
その他の包括利益累計額合計	△8,998	△766
純資産合計	3,543,742	3,114,404
負債純資産合計	12,611,519	11,409,994

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	3,018,089	3,133,807
売上原価	2,290,888	2,342,154
売上総利益	727,200	791,652
販売費及び一般管理費	1,209,072	1,213,079
営業損失（△）	△481,871	△421,426
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,336	1,113
販売協力金	1,556	1,178
請負契約引受損戻入	—	2,297
その他	3,250	3,646
営業外収益合計	8,144	8,236
営業外費用		
支払利息	6,844	7,858
支払手数料	500	500
請負契約引受損	12,963	—
和解金	—	5,150
その他	799	3
営業外費用合計	21,108	13,512
経常損失（△）	△494,835	△426,702
特別利益		
投資有価証券売却益	—	299
特別利益合計	—	299
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,199
特別損失合計	—	1,199
税金等調整前四半期純損失（△）	△494,835	△427,602
法人税等	△57,625	△102,097
四半期純損失（△）	△437,209	△325,504
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△437,209	△325,504

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△437,209	△325,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,912	—
繰延ヘッジ損益	△2,639	8,232
その他の包括利益合計	△7,551	8,232
四半期包括利益	△444,760	△317,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△444,760	△317,272

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I. 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	B P社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	977,133	1,553,016	487,938	3,018,089	—	3,018,089
セグメント間の内部売上高 又は振替高	716	234,592	11,417	246,726	△246,726	—
計	977,850	1,787,609	499,356	3,264,816	△246,726	3,018,089
セグメント利益又は損失(△)	4,834	83,800	△177,665	△89,029	△392,841	△481,871

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去△40,483千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△352,357千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 B P社は2019年4月1日付で会社分割を行い、札幌営業所を株式会社B E S S札幌に、岐阜営業所を株式会社B E S S岐阜にそれぞれ事業を承継しておりますが、両社共に報告セグメントのB P社に含めております。

## II. 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	B P社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,015,625	1,052,305	1,065,876	3,133,807	—	3,133,807
セグメント間の内部売上高 又は振替高	193	385,306	17,365	402,864	△402,864	—
計	1,015,819	1,437,611	1,083,241	3,536,672	△402,864	3,133,807
セグメント利益又は損失(△)	73,057	△115,658	△62,577	△105,178	△316,247	△421,426

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去△6,854千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△309,392千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 B P社は2019年4月1日付で会社分割を行い、札幌営業所を株式会社B E S S札幌に、岐阜営業所を株式会社B E S S岐阜にそれぞれ事業を承継しておりますが、両社共に報告セグメントのB P社に含めております。

## 3. 補足情報

生産・受注及び販売の実績

## ① 生産実績

当社グループが営む事業では、生産実績を定義することが困難であるため、記載しておりません。

## ② 受注実績及び販売実績

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

セグメント 区分	品目名称	前連結会計 年度繰越高 (千円)	当第1四半 期連結累計 期間契約高 (千円)	計 (千円)	当第1四半 期連結累計 期間販売高 (千円)	次期繰越高		当第1四半 期連結累計 期間施工高 (千円)
						契約残高 (千円)	うち施工高 (千円)	
直販部門	ログハウス等 部材パッケージ販売	24,604	10,693	35,297	10,706	24,591	—	—
	ログハウス等工事	5,317,516	869,097	6,186,614	923,914	5,262,699	210,646	1,061,525
	その他	—	4,041	4,041	42,513	—	—	—
	(小計)	5,342,120	883,832	6,225,953	977,133	5,287,291	210,646	1,061,525
販社部門	ログハウス等 部材パッケージ販売	4,634,225	1,035,317	5,669,543	1,358,643	4,310,900	—	—
	その他	—	—	—	194,373	—	—	—
	(小計)	4,634,225	1,035,317	5,669,543	1,553,016	4,310,900	—	—
B P 社	ログハウス等 部材パッケージ販売	—	2,226	2,226	2,226	—	—	—
	ログハウス等工事	3,984,642	780,246	4,764,889	485,002	4,279,886	29,726	496,855
	その他	—	—	—	709	—	—	—
	(小計)	3,984,642	782,473	4,767,115	487,938	4,279,886	29,726	496,855
合計		13,960,989	2,701,622	16,662,611	3,018,089	13,878,077	240,373	1,558,380

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は(売上高+次期繰越施工高-前期繰越施工高)に一致しております。
- 4 各部門の「その他」(販促物販売収入等)は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

セグメント 区分	品目名称	前連結会計 年度繰越高 (千円)	当第1四半 期連結累計 期間契約高 (千円)	計 (千円)	当第1四半 期連結累計 期間販売高 (千円)	次期繰越高		当第1四半 期連結累計 期間施工高 (千円)
						契約残高 (千円)	うち施工高 (千円)	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	158,982	79,075	238,058	50,926	187,131	—	—
	ログハウス等工事	6,137,663	668,314	6,805,977	931,631	5,874,346	219,943	1,087,907
	その他	—	—	—	33,067	—	—	—
	(小計)	6,296,646	747,389	7,044,036	1,015,625	6,061,478	219,943	1,087,907
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	3,285,302	819,167	4,104,469	937,313	3,167,155	—	—
	その他	—	—	—	114,991	—	—	—
	(小計)	3,285,302	819,167	4,104,469	1,052,305	3,167,155	—	—
B P 社	ログハウス等 部材キット販売	—	2,867	2,867	2,867	—	—	—
	ログハウス等工事	4,487,201	958,170	5,445,371	1,061,887	4,383,484	8,524	1,059,222
	その他	—	—	—	1,120	—	—	—
	(小計)	4,487,201	961,038	5,448,239	1,065,876	4,383,484	8,524	1,059,222
合計	14,069,150	2,527,594	16,596,745	3,133,807	13,612,118	228,467	2,147,130	

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高＋次期繰越施工高－前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。
- 5 2020年度から供給部材のサプライチェーンマネジメントの見直しの一環として呼称を部材パッケージから部材キットと改めております。